

平和への道

秋平和委員会機関紙 No. 19

明日

討論集会に参加し、インドシナ情勢

<12:30 読書室>

を知り、受知外相訪印反対

総決起集会

明日、受知外相訪印反対全
大阪学生総決起集会（6時
扇町公園）に向け、学大討
論集会（12時半、読書室）
に参加しよう

昨日、米軍のカンボジア侵襲抗議、受知外相訪印反対の
統一行動が約8000でちとられました。大阪の地にお
ける斗いは3日、昨日の斗い、そして明日の学生総決起等
を集約点として前進して行くとおぼしめます。

アメリカ国内にあっては、9日の全米統一行動（ワシン
トンは10万人）の圧倒的な高揚はもちろん、議会にあって
も「上院外交委員会は11日、賛成9、反対1でカンボジ
アにおける一切の米軍駐留に要する費用の支出を認めない
」ことを71会計年度国防調達支出権限法案につけ加える
ことを決めた。またマスキー上院議員もこの日上院本会議
で「18ヵ月以内に全米軍をインドシナから引き揚げる」との
決議案を提出、上院は反戦に関心、早くもあらたに行動

<6:00 扇町公園>

きをかきしている」（5月12日 毎日）

また、インドシナにあっては「10日のハノイ放送でカンボジ
ア民族統一戦線情報部の報道として伝えるところによると、-----カ
ンボジア人民解放武装勢力がカンボジアの南部の地区と町を占
み数万人の人民をロウ・ノル政権の支配から解放し、カンボジア民
族統一戦線の下で組織を樹立したことを明らかにする-----。」
（4月11日 毎日）ようには、きりと民族解放勢力の斗いは前進
しています。

このように中において佐藤政府は右のようなきわだちめな名目でア
ジア諸国会議（16・17日ジャカルタ）に出席しようとしている。
これは、昨年11月の日米共同声明の実質化——東南アジア進出の
重要な前盾となるものである。私たちはこのような危険な意図をも
った受知外相のアジア諸国会議への参加には、きりと反対してい
く必要があるのでしょ。12日には、北京在住のシアヌーク・カン
ボジア民族統一戦線議長から日本原水協にメ・セージが送られ
佐藤政府に対する非難が激しくなっています。

佐藤政府のアジア諸国会議出席への大義名分

「地道に和平への努力」

カンボジア問題についてのアジア諸国会議は16
・17の両日インドネシアのジャカルタで開かれるが、
政府は12日の閣議で、そのあとの佐藤首相と受知
外相の協議で、この会議に際して政府の姿勢と基本
方針を確認した。これは参加諸国の「南側」にみ
たより反共的な色彩を減らすことを警戒して、中
立的な立場をつらぬこうとするものである。

具体的な提案としては①1954年ジュネーブ協定
の精神を尊重し、カンボジアの中立、独立、領土
保全を確保する。このため、国際休戦監視委員会
の復活を求める②米軍、北ベトナム軍、ベトナム
（南ベトナム解放民族戦線）双方の軍隊を早く撤
退させる。——の二点を基本的考え方としている。

（5月12日 毎日）